

認知症は 単なる物忘れとは違います。

～認知症について知っておきたい基礎知識～

早期受診・早期治療で、
明るい毎日を。



認知症について

認知症とは、脳血管疾患、アルツハイマー病その他の要因に基づく後天的な障害によって、日常生活に支障が生じる程度にまで認知機能が持続的に低下した状態をいいます。

認知症は高齢期では誰にでも起こる可能性があります。

また、65歳未満で発症した認知症は若年性認知症と言われます。



認知症の原因疾患

- 中枢神経変性疾患(アルツハイマー病、レビー小体型認知症、前頭側頭型認知症など)
- 血管性認知症(脳梗塞、くも膜下出血、脳出血など)
- 頭部外傷や内分泌疾患やその他の疾患による認知症

認知症の症状

中核症状

記憶障害

- ・ さっき聞いたことが思い出せない
- ・ 覚えていたはずの記憶が失われる

見当識障害

- ・ 時間や場所などの感覚が分からなくなる
- ・ 道順などが分からなくなる

判断・実行機能障害

- ・ 考えるスピードが遅くなる
- ・ 前もって計画を立てることができない

失語・失行・失認

- ・ 物の名前が出てこない
- ・ 服の着方や道具の使い方が分からない
- ・ 物を見てもなんだか分からない

周辺症状

抑うつ・幻覚・妄想・徘徊など

認知症高齢者の日常生活の変化

- 同じことを何回も言ったり聞いたりする
- 物の名前が出てこなくなった
- 財布を盗まれたと言う
- ささいなことで怒りっぽくなった
- 置き忘れやしまい忘れが目立つ

加齢に伴うもの忘れと認知症のもの忘れの違い

加齢に伴うもの忘れ

- 体験の一部を忘れる
- 記憶障害のみがみられる
- もの忘れを自覚している
- 探し物も努力して見つけようとする
- 見当識障害はみられない
- 取り繕いはみられない
- 日常生活に支障はない
- きわめて徐々にしか進行しない

認知症のもの忘れ

- 全体を忘れる
- 記憶障害に加えて判断の障害や実行機能障害がある
- もの忘れの自覚に乏しい
- 探し物も誰かが盗ったということがある
- 見当識障害がみられる
- しばしば取り繕いがみられる
- 日常生活に支障をきたす
- 進行性である



アルツハイマー型認知症の特徴

徐々に発症・進行し、記憶障害を中心とした認知機能が持続的に低下。麻痺などの神経所見は目立たない。

〈主な症例〉

- 同じことを繰り返し話したりする。
- 物の置き場所がわからなくなったり、見つからないときに人のせいにする。
- 計算ができなかったり、服を着たりする動作や、行動が思いどおりに行えない。
- 場所や日時がわからない。
- 夜間の幻覚・妄想や徘徊が見られる。



血管性認知症の特徴

脳梗塞、脳出血などの血管性障害発症に伴い、階段状に進行。

頭痛、めまい、しびれなどの症状や、片麻痺などの神経所見を伴うことが多い。

〈主な症例〉

- 歩行障害（小刻み歩行など）が見られる。
- 嚥下障害が起こる。
- 尿失禁や頻尿が起こる。

血管性認知症の予防

脳の血管障害を防ぐために、生活習慣病（高血圧、糖尿病など）の予防や治療が有効。



認知症ではないが認知症と間違われやすい状態

高齢者のうつ状態で、反応の乏しさ等から認知症と間違われるものとして仮性認知症があります。

若年時のうつ病の再燃や急激な環境変化によって出現することもあります。本来の認知症とは治療方針が異なるため、鑑別が重要です。

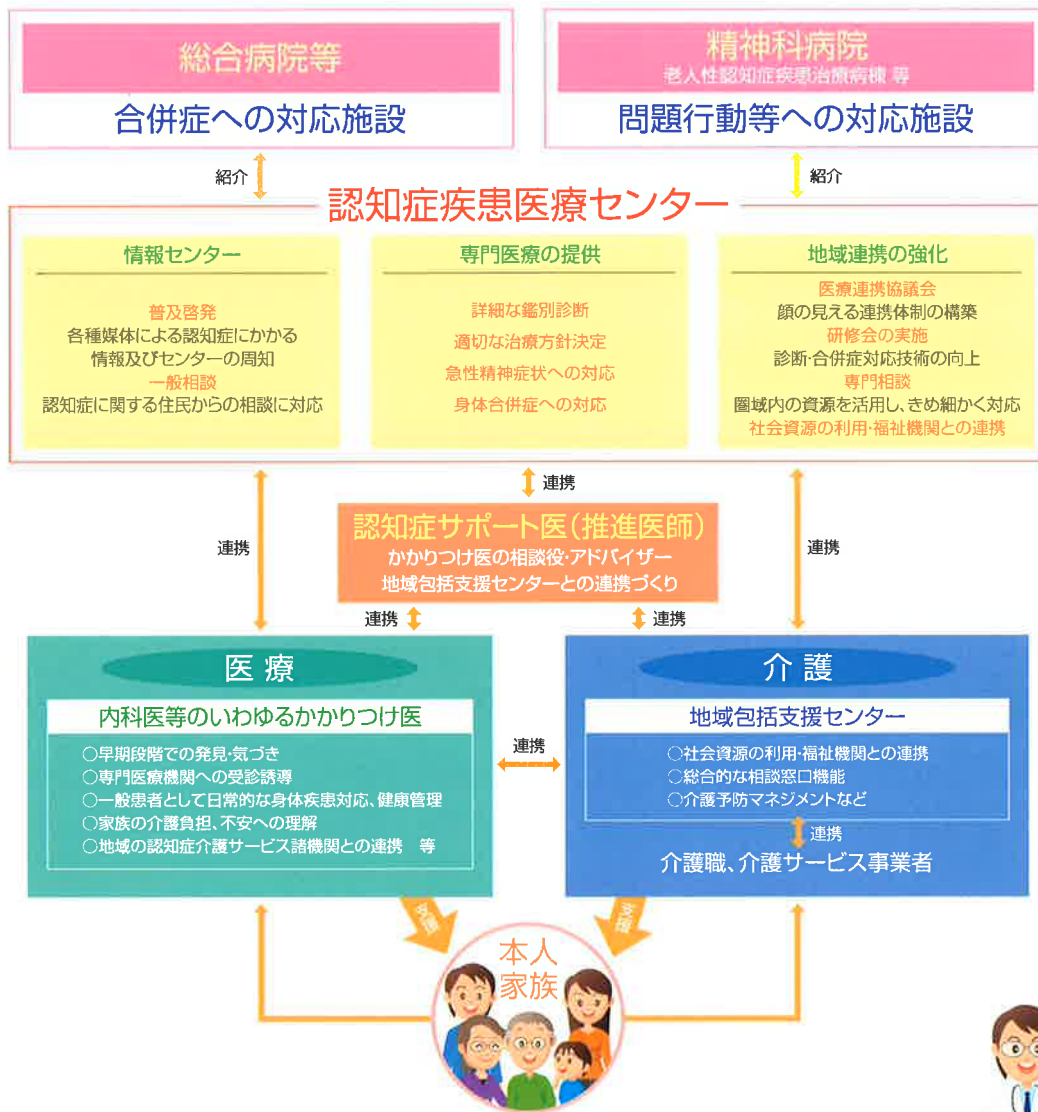
早期発見・早期対応の意義

- 治療可能な認知症は、早期発見と早期治療介入を確実に行うことで症状が治まったり、症状を軽くすることができる。
- アルツハイマー型認知症であればより早期からの薬物療法による進行抑制及び緩徐化が可能。
- 本人が変化に戸惑う期間を短くでき、その後の暮らしに備えるために、自分で判断したり家族と相談できる。
- 家族等が適切な介護方法や支援サービスに関する情報を早期から入手可能になり、病気の進行に合わせたケアや諸サービスの利用により認知症の進行抑制や家族の介護負担の軽減ができる。



早期からの認知症高齢者支援体制

認知症の早期発見、早期診断のために、かかりつけ医と地域包括支援センター、介護サービス事業者、認知症疾患医療センター、専門医療機関等が連携し、認知症患者とその家族を支援する。



認知症の治療について

まずは、かかりつけの医療機関を受診してください。

一般的には、医師と対面して問診で診断します。そのほか、記憶や認知機能の程度を調べる検査や、血液検査や心電図検査などの一般的な身体検査や、運動機能や神経の動きを調べる神経学的検査、脳の状態を視る画像検査が行われることもあります。

認知機能検査

日時や物の形の認識、簡単な計算、数分前に見た物の記憶などを調べる検査です。

画像検査

CTやMRIなどで脳の委縮、梗塞や出血の有無など、SPECTやPETで脳の血流や代謝状態をみる検査です。

治療方法

アルツハイマー型認知症は薬物療法によりその進行を遅らせることができる

治療可能な認知症

硬膜下血腫や正常圧水頭症、甲状腺機能低下症、神経梅毒、脳炎、ビタミンB12欠乏症など

認知症に関するQ&A

Q1 認知症かなと思ったらどこに相談したらいいですか？

A まず、かかりつけの主治医の先生に相談してください。認知症かどうかの簡単な質問や診察をします。そこで、さらに検査などが必要な場合は、適切な病院を紹介してくれます。介護のことなどについては、地域の介護支援センターや包括支援センターも窓口になります。また、認知症疾患医療センターでも認知症に関する相談窓口を設置しています。

Q2 認知症は治る病気ですか？

A 原因によっては治る認知症もあります。その1つが特発性正常圧水頭症です。これは脳や脊髄の表面を循環している脳脊髄液が、脳室にたまってしまうもので、外科手術によって治療することができます。しかし、「アルツハイマー型認知症」や「脳血管性認知症」については今のところ完全に治す方法がありません。ただ、最近では新たなアルツハイマー型認知症治療剤が承認され、治療に使われるようになりました。

Q3 医療機関は何科を受診すればよいですか？

A 多くの場合は内科ですが、認知症の専門医がいる認知症疾患医療センターの受診も検討します。また、精神科や老年科、脳神経外科などがありますが、予約する段階で認知症を診察しているかなど問い合わせてみてください。

Q4 軽度認知障害 (MCI) とは何ですか？

A 認知症になる前段階の状態を軽度認知障害 (Mild Cognitive Impairment) と言います。MCIの人が必ずしも認知症になるわけではありませんが、毎年10%前後の人たちが認知症に移行すると言われていています。

Q5 認知症を予防する方法はありますか？

A アルツハイマー型認知症に関しては、未だ完全な予防法はありませんが、生活習慣病の予防が認知症の予防となりえます。

予防可能な危険因子として、高血圧、動脈硬化、糖尿病、高脂血症、甲状腺機能低下症などがあり、喫煙も危険因子としてあげられています。

また、とくに高齢になってからは、趣味や地域活動への参加、運動が予防因子として注目されています。家に閉じこもらず、積極的に周囲の人々と関わり合いながら会話を続けることが、認知症発症予防になると考えられています。

相談先

● かかりつけの医療機関

● 地域包括支援センター

地域住民の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的として、市町村に設置されています。

地域包括支援センターの役割

- (1) 高齢者に必要な支援提供のための総合的な相談業務
- (2) 介護サービス計画の作成など
- (3) 高齢者の人権や財産を守る権利擁護事業(成年後見制度など)
- (4) 医療機関等との連携・協力体制の構築

● 公益社団法人 認知症の人と家族の会

家族の会では、フリーダイヤルによる電話相談を実施しています。

認知症に関する知識や介護の仕方などなんでもお尋ね下さい。また、介護のグチや悩みを思う存分話して下さい。

少しでも心が軽くなり、元気を出してもらえるよう、経験者が丁寧に伺います。

 **0120-294-456**

※土・日・祝日を除く毎日、午前10:00～午後3:00まで。

※全国どこからでも無料[携帯、PHSの場合はTEL/075-811-8418(通話有料)]。

※研修を受けた介護経験者による相談。

● 認知症疾患医療センター

認知症に関する専門医療機関としての役割をになっています。

認知症疾患医療センターとして指定する病院

地区	医療機関名	所在地	相談電話番号(専用)
岐阜	公益社団法人 岐阜病院	〒500-8211 岐阜市日野東3-13-6	☎058-247-2118
岐阜	医療法人香風会 黒野病院	〒501-1128 岐阜市洞1020	☎058-234-7038
西濃	医療法人静風会 大垣病院	〒503-0022 大垣市中野町1-307	☎0584-75-5031
中濃	医療法人清仁会 のぞみの丘ホスピタル	〒505-0004 美濃加茂市蜂屋町上蜂屋3555	☎0574-27-7833
中濃	医療法人春陽会 慈恵中央病院	〒501-4193 郡上市美並町大原1	☎0575-79-3038
東濃	医療法人仁誠会 大湫(おおくて)病院	〒509-6471 瑞浪市大湫町121	☎0572-63-2397
飛騨	医療法人生仁会 須田病院	〒509-4124 高山市国府町村山235-5	☎0577-72-2213

認知症疾患医療センターの役割

- (1) 認知症に関する専門医療相談 …… 専門の相談員が、認知症に関する不安や悩みの相談に応じます。
 - 相談 日/月曜日から金曜日(土日、祝祭日、年末年始を除く)
 - 受付時間/9:00～15:00
 - ※相談日・受付時間は、各センターによって異なりますのでお問い合わせ下さい。
- (2) 専門の検査、診断、検査など …… 認知症疾患の診断を行うための検査や診察等を行い、治療を行います。
- (3) 情報提供、研修会の開催 …… 認知症に関する情報提供や、認知症に関する研修会を開催します。

認知症疾患医療センターに関する問い合わせ先

岐阜県高齢福祉課介護保険者係 TEL/058-272-8296(直通)

気づきの一歩は周りから。

